

- ・新規のアミノ酸系難燃剤を開発することにより、燃焼時に有毒ガスの発生がなく、安定かつ安価な難燃剤を開発する。
- ・アミノ酸をシクロデキストリン包接化合物で複合化することで、超高分子化し、燃焼を抑制する。
- ・優れた特徴を有する難燃剤をシート生地に均一に塗布する技術を確立する。

研究開発の成果

■アミノ酸ー包接化合物複合体を利用した難燃剤の開発

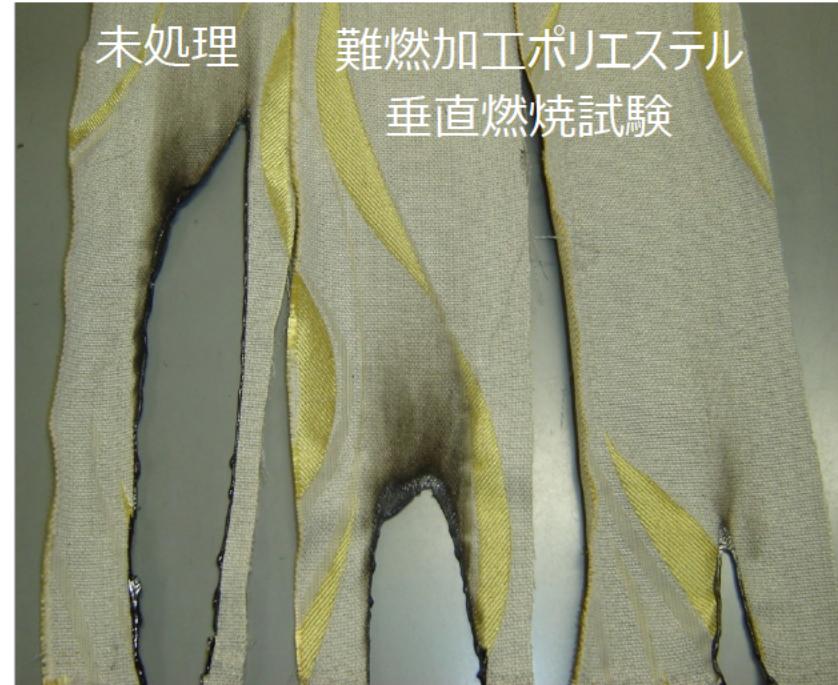
- ・シクロデキストリン α 、 β 、 γ の組み合わせでアミノ酸の超高分子化を実現。
- ・超高分子化したアミノ酸でポリエステル素材の難燃化を実現。
- ・高分子化した難燃剤であるため、接着剤を併用する必要がない。

■超高分子化ポリエステル素材用難燃剤が完成

- ・アミノ酸ーシクロデキストリン包接複合体難燃剤は水、溶剤に不溶であるため、従来にない耐久性が実現。
- ・電解質を含有しないため、金属を腐食することがない。

■自動車シートへの加工方法の確立

- ・自動車シート用ポリエステル生地に難燃剤着難燃成分が、環境条件(温度、湿度)で容易に移動、脱落、分解しない加工技術を確立。
- ・難燃加工装置による難燃剤を均一に塗布する加工方法を確立。



研究体制

事業管理機関 一般財団法人ファインセラミックスセンター

ツヤトモ株式会社、伸葉株式会社

当該研究開発の連絡窓口

伸葉株式会社 技術部

E-mail : shinyo04@orihime.ne.jp

電話番号 : 0586-76-6676